

会 議 録

会議の名称	第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会（部会①）
開催日時	令和8年4月20日(月) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 5時10分 閉会
開催場所	おにクル7階 会議室2
議長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出席者	<p>【評価委員（全出席委員のうち、下線のある委員が部会②に出席）】 <u>河合将生氏（NPO関係者）、入江陽子氏（NPO関係者）、上村有里氏（NPO関係者）、草山太郎氏（追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 准教授）高田和子氏（地域活動関係者）、小村郁慧氏（公募市民）</u> （ 6人）</p> <p>【事務局（全出席者のうち、下線のある者が部会②に出席）】 <u>田中共創推進課長、吉田共創推進課市民活動グループ長、岡田、森</u> （ 4人）</p> <p>【担当課】 都市政策課、発達支援課、地域福祉課、文化振興課 （ 4課）</p>
開催形態	原則公開
議題(案件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和8年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧（プレゼン審査タイムスケジュール） ・ 応募関係書類（個人情報を含むため省略）

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及び挨拶
河合委員長	<p>公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明、2室に分かれて審査を行う旨説明 傍聴者入室</p> <p>※ここまでは部会②とともに、会議室2にて実施</p> <p>----- プレゼンテーション開始 -----</p> <p>以下、プレゼン審査タイムジュール（4月20日プレゼン分②）の順に沿ってプレゼン審査を実施。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>茨木夜市実行委員会 舟木町まち角公園「まち角カウンター」実証プロジェクト</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
小村委員	<p>【質疑応答】</p> <p>・雨や台風の場合はどうするのか。 →開催場所は変更しない。小雨程度なら実行するが、荒天候なら中止する予定。雨よけとしてテントを設置する。</p>
草山委員	<p>・色んな方が来場されると思うが、バリアフリーにはどう対処するのか。 →段差があるところはパネルなどを敷く。当日はボランティアが誘導する。</p>
高田委員	<p>・周辺道路は交通量が多く歩道も狭いが、安全対策は。 →通行人と積極的にコミュニケーションをとり、安全に気をつけながら開催する。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>Com-Path 茨木 発達特性のある子どもの保護者・当事者のための「学び」と「情報」のネットワーク構築事業</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
河合委員長	<p>【質疑応答】</p> <p>・講演に来られる団体ありきの活動計画ではなく、グループの中で相談しながら検討していくのもいいのではないか。</p>
小村委員	<p>・「情報が途切れる」とはどういうことか。</p>

	→ライフステージの変化に伴い利用できる支援も変わっていくので、そのたびに保護者は選択を迫られ困ってしまう。縦断的な支援をしたい。
団体	【自由テーマ型】 いばらきリトミックくらぶ リトミックと障がいと音楽～優しさがめぐる茨木へ～
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・来場者人数はどのくらいを想定しているか。 →100～150人を想定している。
草山委員	・文化振興財団がバリアフリーコンサートをしていたりするので、参考にしてみたい。
団体	【自由テーマ型】 山手台倶楽部
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・ポスティング代が非常に高いが、自治会を通して広報するなど、自分たちで広報することを考えたか。 →確実に周知して、参加者を募るにはポスティングを利用するのが一番だと思った。
草山委員	・コアメンバー5名（専門職含む）とあるが、どんな専門職か。 →理学療法士、言語聴覚士、介護職。メンバーではないが、鍼灸師などにも声掛けをしている。
団体	【自由テーマ型】 北中子育てサロン
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・前年度はどれくらいの人が集まったのか。 →スタッフも含めて50人以上集まっていた。
草村委員	・地域にいる障害を持った子も対象になっているのか。フルインクルーシブにつながる部分もあると思うので、想定がなければ考えてみてほしい。
河合委員長	・食物アレルギーを持つ方の参加等、企画を詰めていく中で考えることは見えてくると思うので、そのあたりも検討してほしい。

<p>団体</p>	<p>【自由テーマ型】 型破りなアートプロジェクトユニット 型破りなアート展2026</p>
<p>関連課</p>	<p>【関連課 意見】</p>
<p>小村委員</p>	<p>【質疑応答】 ・会場サテライト型とあるが、どのようにまちに広げていくのか。 →協賛してもらった企業やお店の中や近辺で開催する。</p>
<p>河合委員長</p>	<p>・市民応援サポーター制度など市民の関わりしろを設けているということだが、仕掛けの具体性はどんなものがあるか？ →候補としては、募集・告知の部分で得意な人に関わってもらおう。作品を買いたいという人がいたが、プロジェクト自体にお金を出したいという人もいたので、そういったところを切り口にしながら関わる人を増やしていきたい。</p>
<p>河合委員長</p>	<p>他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。 事務局から連絡事項はないか。</p>
<p>事務局</p>	<p></p>
<p>河合委員長</p>	<p>この後、採点表を回収し、事務局にて集計ののち、交付・不交付について団体へ通知します。 以上で、第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>